



千葉県マスコット  
キャラクター テーパくん  
千葉県許諾 第A3-17号



バスで行く！

# 千葉の小々な旅

BUS  
第13回

今回の路線

日東交通 長狭線 平塚本郷行





## 安房鴨川駅周辺地域を結ぶバス路線で 大活躍の三菱ふそうエアロミディ

安房鴨川駅を経て大山千枚田前を通過するバス路線(長狭線)を運行するのは、千葉県木更津市に本社を置く日東交通株式会社。すでに100年近い歴史を持つ老舗のバス会社です。

現在の日東交通は房総半島南部一円に運行エリアを持っており、ここ安房鴨川を經由するバス路線でも、人気の観光スポットである大山千枚田や鴨川シーワールド、周辺の主要な駅などを結び、地域住民や観光客の大切な足として日々活躍しています。

今回ご紹介する車両は、この路線で活躍する1台で、2013年製のエアロミディという車両です。エアロミディは、三菱ふそうトラック・バスが製造した全長9mの中型バスで、乗り降りしやすいノンステップ仕様となっていて、総排気量は約7,500cc。中型ながら50名以上の乗客を乗せることが可能なため、全国のバス路線で活躍中の車両です。

特にこのモデルは安全性を上げる装備が追加されています。アクセルとブレーキが同時に操作された際には、ブレーキ操作が優先される「ブレーキオーバーライドシステム」をクラスで初めて採用し、誤操作による事故を防ぎ、人と車両を守ります。また、後扉が開いた状態では走行ができないよう制御して、停留所や走行時の安全性を大幅に向上させるなど、当時のトップレベルの安全性を備えています。



◀安房鴨川駅から鴨川シーワールドまでの無料送迎バスも運行しています。

### 日東交通にEVバスがデビュー!

日東交通にEVバス(電気バス)がデビューしました。導入されたのはBYD製の小型EVバス J6 2.0で、狭い道路での走行やコミュニティバスとしての活用も期待されています。

1回の充電で約210kmの走行が可能です。車体正面のデザインはどこかロボット風でかわいい車両です。郊外型の定員は32名。もちろんCO<sub>2</sub>排出ゼロの上、災害時には電源供給ステーションにもなるほか、被災地に移動して冷暖房完備の避難所としても活躍できる優れものです!







## ●鴨川市郷土資料館

鴨川の伝統的な生活史を伝えるために作られた資料館。昔の生活などが偲ばれる民俗資料を中心に、約9,000点の郷土資料や文化遺産を収蔵。郷土出身の元大蔵大臣・水田三喜男氏の遺品や収集品、歌人・古泉千樫、彫物大工・波の伊八の展示コーナーもあります。

●問い合わせ／鴨川市横渚1401-6  
TEL.04-7093-3800



# 安房鴨川駅を出発し「みんなみの里」を経由して絶景の大山千枚田へ

今回の小さな旅の出発点は、JR内房線、外房線それぞれの終着駅である安房鴨川駅。近年のリニューアルで現在の白い壁、赤い屋根の素敵な駅舎となりました。

今回乗車するバス路線は、鴨川市内の亀田病院を出発し、鴨川駅(東口)、みんなみの里、大山千枚田入口を経由し平塚本郷にいたる長狭線です。

安房鴨川駅を出発したバスは、鴨川市内の街中を走行し、すぐに川沿いを走る長狭街道に入ります。車窓には広々とした川辺の風景がしばらく続き、次第に民家や商店が点在する田園風景へと変化していきます。なだらかなカーブを織り交ぜながらバスは順調に進んでいきます。

途中バスは長狭街道から外れ、「里のMUJI みんなみの里」や「カステラ工房 ルアーシェイア」に立ち寄れる「みんなみの里」停留所に向かいます。そして再び長狭街道に戻ると、ここから道はほぼ一本道。

今回の目的地、大山千枚田にはこの街道沿いの大山千枚田入口停留所を下車。この辺りから棚田のような田んぼが現れます。くねくねとカーブを繰り返す道を15分ほど歩くと今回の目的地「大山千枚田」に到着します。目の前に広がる絶景はまさに感動ものです。

今回の旅はJR内房線・外房線安房鴨川駅からスタートです。内房線と外房線の終着駅なので、この駅から発車する電車は上りしか存在しないという、面白い駅となっています。

**ゴール**  
大山千枚田入口

●大山千枚田  
〈裏表紙でご紹介〉

古民家レストラン・棚田カフェ  
ごんべい

里のMUJI みんなみの里

カステラ工房  
ルアーシェイア

長狭街道

鴨川市陸上競技場

鴨川市郷土資料館

鴨川シーワールド

安房鴨川駅

鴨川駅(東口)  
**スタート**

太海駅

## ●古民家レストラン・棚田カフェ ごんべい

NPO法人 大山千枚田保存会が運営し、この地方に伝わる築100年の古民家を移築した小さなレストラン。

食材はとことん地元にごこだわり、ご飯は大山千枚田産のお米を使用し羽釜で炊いています。大山千枚田ならではのゆったりとした雰囲気の中で時間を過ごすことができます。現在の営業日は、木・金・土日祝となっています。

●問い合わせ／鴨川市平塚546-1  
TEL.04-7099-9052



## ●カステラ工房 ルアーシェイア

房総産の新鮮な卵と国内産の最上級小麦粉を使った美味しいカステラが評判のお店です。

店舗に併設された工房では、カステラ職人が熟練した技術により、素材本来の風味を損なわないよう一枚一枚、カステラが丁寧に焼き上げられています。

●問い合わせ／鴨川市宮山1708-1  
TEL.04-7099-8090



## ●里のMUJI みんなみの里

無印良品が手がける交流施設で、無印良品の商品を販売する「無印良品 みんなみの里」や、直売所を併設する「Café&Meal MUJI みんなみの里」などの店舗が並んでいます。店内はMUJIらしい、暖かくて寛げて、そしてワクワクする空間が広がっています。新設された木製テラスの前には、緑豊かな山並みや農園の風景が広がります。 ●問い合わせ／鴨川市宮山1696 TEL.04-7099-8055



※現地の時刻表に基づき取材をしています。曜日・季節・天候により時刻表・ルートが変更になる場合があります。



## 山の斜面に広がる息をのむような大山千枚田の絶景

山のふもとにある広さ約3万平方の急傾斜地に、階段のように連なる大小375枚の田んぼ。懐かしい里山の風景が見られる景勝地で、農林水産省指定「日本の棚田百選」に千葉県内で唯一選ばれている場所です。

平野の田んぼと違い、耕地整理が遅れたことが、この昔ながらの美しい棚田を現代に残すことになりました。大山千枚田は日本で唯一この広さを雨水のみで耕作を行っている天水田です。そのため動植物も貴重なものが多く生息し、生態系や環境の保全の場にもなっています。取材に訪れた日も、田んぼの中から生き物の鳴き声の合唱が聞こえてきました。

山の上から眺める棚田の風景はまさに絶景。見事で、懐かしい、そんなたまらない風景です。田植えや稲刈りの時期によって異なる風情が楽しめ、春の田植え前のシーズンには棚田の水が鏡のように輝き、空が反射する風景が広がります。夏には緑があふれ、

晩夏には黄金色の稲穂が広がります。

例年10月末から1月初めまで行われるライトアップは、鴨川市でも特に人気イベントのひとつでLEDキャンドルでライトアップされた幻想的な世界を楽しむことができます。

大山千枚田は棚田オーナー制度を運営してこの景観を保全しています。応募者は毎年ここで農作業をすることもできます。



▲晩夏には棚田全体が黄金色に染まります。



▲ライトアップされた幻想的な世界が広がります。

●問い合わせ / NPO法人 大山千枚田保存会  
鴨川市平塚540 TEL.04-7099-9050



## イチ押しグルメ

### 落花生専門店 酒井のピーナツ

八街市八街ほ1040  
TEL.043-444-0568

- 営業時間 / 9:00~18:30
- 定休日 / 大晦日・元日
- URL / <https://sakaiiritate.com/>



## 落花生のあらゆる楽しみに出会えるお店「落花生専門店 酒井のピーナツ」

八街は恵まれた土壌気候で日本一の落花生の生産地です。「落花生専門店 酒井のピーナツ」はこの地で昭和47年から店舗を構え、落花生一筋に、今では生産から加工・卸・小売りまでを行っている老舗です。ここで販売する、から付き落花生はやや深煎り。香り・コク・甘味が特徴です。その味を活かした人気の小粒バターピーや落花生の

王様【千葉半立種】をはじめ、あらゆる美味しさの可能性を皆さまにお届けするべく、多彩な商品が用意されています。

また店頭で販売中の「ご当地落花生ソフトクリーム」も大人気。甘すぎず、濃厚だけどしつこくない。“ちょう

どいい”落花生加減にファンも増加中。ぜひご来店ください。



## 《バスで行く! 千葉の小さな旅》今月の誌上クイズ

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「バスで行く! 千葉の小さな旅」の第13回をご覧ください。



今回ご紹介した大山千枚田のすぐ近くにある、大山千枚田で収穫されたお米が食べられる古民家レストランの名前は何でしょうか。

次の3つの中から正解を1つ選んでください。

- ① 棚田カフェ しんべい
- ② 棚田カフェ ごんべい
- ③ 棚田カフェ たごさく

取材協力・撮影協力・写真提供 / 日東交通株式会社、鴨川市郷土資料館、カステラ工房 ルアーシェイア、株式会社良品計画、NPO法人 大山千枚田保存会、酒井のピーナツ

2024.7  
(次回発行予定 / 2024年8月20日)

プラスαで、未来とともに。  
**京葉銀行**

ホームページでもご覧いただけます。  
京葉銀行 情報誌

LINEからも「バスで行く! 千葉の小さな旅」を配信しています。

**LINE**  
公式アカウント



正解は→② 棚田カフェ ごんべい